

構造工学委員会「災害時の緊急架設を目的とした緊急仮設橋に関する調査研究小委員会」
委員の公募

土木学会構造工学委員会では、以下の研究小委員会を設置いたします。この小委員会に参加頂ける方を公募します。本小委員会の目的および内容は以下のとおりです。

<委員会名称>

災害時の緊急架設を目的とした緊急仮設橋に関する調査研究小委員会

<委員構成>

委員長：福岡大学 教授 渡辺 浩

幹事長：一般社団法人日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所 小野 秀一

委員：公募により募集

<設立趣旨，活動内容>

日本は地理的，地形的な条件から，地震・台風・豪雨・噴火等の自然災害が発生しやすい国土となっています。近年の地球温暖化の影響や都市化に伴う社会構造の変化等により，台風や短時間強雨（ゲリラ豪雨）の発生数が急増しており，短時間強雨だけでなく総雨量の増加もみられます。また，首都直下地震や南海トラフ地震等の発生による広域被害も懸念されていることに鑑み，被災後の緊急を要する人命救助や孤立地域の早期解消といった観点，生活に関わる既設の中小規模橋の仮復旧といった観点などに立脚した，災害復旧や人命救助に特化した橋梁が必要であると考えられます。

そこで本小委員会では，現行の道路橋示方書等の基準までは要求しないまでも，緊急時には早期かつ簡易に仮設が可能な新しい橋のカテゴリーとして“緊急仮設橋”を定義し，各種災害による橋梁被害の状況と，被災時に用いられる応急組立橋の現状や課題を踏まえ，被災状況に応じた緊急仮設橋に求められる性能を取りまとめ，設計や施工の規準整備に向けた技術資料の作成を行う予定です。

<活動方法>

本小委員会は，過年度に D 研究グループとして活動した小委員会の成果（資料は別途，配布します）を踏まえて C 委員会として活動するものです。

以下に示す活動方法での実施を予定しています。

活動期間：活動開始から 2 年間（2020 年 10 月～2022 年 9 月を予定）

開催回数：年 4 回程度の小委員会の開催

開催場所：主に土木学会会議室（東京）

活動方法：小委員会では活動の意義や方針確認を行い，具体的な作業は WG を設置し，それぞれの WG で行う予定。

交通費等の支給：旅費，交通費の支給はありません。

(※Eメールやweb会議等を活用した運営を予定していますので、遠方からの参加も歓迎いたします。)

<応募の方法>

本小委員会に委員として参加を希望される方は、(1)氏名、(2)所属・役職、(3)連絡先を明記の上、(4)応募理由(簡単で結構です。運営の参考にするためお伺いします)を添えて、下記の申込み先までE-mailで応募して下さい。なお、応募者数によってはご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご承知おきください。

委員の専門分野としては、構造分野(鋼構造、木構造、複合構造など)、防災分野を主なターゲットと考えておりますが、他分野の方をはじめ、若手研究者や技術者からの積極的な参加を歓迎いたします。

<応募締切日>

2020年10月9日

<申込み・問合せ先>

〒417-0801 静岡県富士市大淵3154

一般社団法人日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所 小野秀一

TEL: 0545-35-0212, FAX: 0545-35-3719

E-mail: ono@cmi.or.jp

以上